兵庫消防

発行所
財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人　関山　巧
定価　1部金44円
題字　井戸知事

あなたです
火のあるくらしの
見はり役

「ひょうご消防のつどい二〇〇五」開催

十月二三日（日）午後一時三〇分より、高砂市文化会館において「ひょうご消防のつどい二〇〇五」を開催しました。

このつどいは、永年にわたり消防業務に従事してきた消防職員・消防団員の功績を讃えた表彰を行うとともに、幹部の研修を行い、士気の高揚と知識・技術の研鑽を深めることを通して消防人の強固な団結と消防機関の連携体制を確立することを目的に開催されました。

当日は、開催地の団長でもある田中副会長の開会のことばに始まり、国歌吹奏、黙祷につづき、関山会長のあいさつ、知事（代理東田防災監）式辞、田村高砂市長の歓迎のことばのあと、知事表彰、消防協会長表彰が各団体、代表受領者に手渡されました。その後、来賓の方々より祝辞をいただき、受章者の代表として姫路市姫路西消防団小林副団長より謝辞が述べられ、第一部は終了しました。

そして第二部の女性消防団活動発表では、芦屋市消防団女性団員（バーディーズ）より「パネルシアター」が披露されました。このパネルシアターは子供達にも楽しく防災意識を高めてもらえるよう、わかりやすく（動く絵本のように）工夫されており、参加者は皆童心に返り、見入っていました。つづいて、神戸市北消防団有馬支団女性団員より、「寸劇」を披露していただきました。随所にユーモアを交え、救急車の呼び方、心肺蘇生法等について、役者がその役になりきって熱演された寸劇により、わかりやすく救急の知識を学ぶことができたのではないかと思います。最後は次回開催地の小林副会長の閉会のことばで幕を閉じました。

第一部で行われた表彰は次のとおりです。

兵庫県知事表彰

○表彰旗　加古川市消防団
○竿頭綬　神戸市灘消防団
　豊岡市竹野消防団
　加美町消防団
○功労章
　消防団員　五四名
　消防職員　七一名
○永年勤続功労章
　消防団員　一七五名
　消防職員　一一三名

兵庫県消防協会長表彰

○表彰旗　赤穂市消防団
○竿頭綬　尼崎市消防団
　丹波市消防団
　南あわじ市消防団
　家島町消防団
○功績章　一三七名
○精績章　二三一名
○勤続章　二五八名
○精勤章　四六二名

なお、これらの表彰は、消防業務に精励し、防火思想の普及、消防施設の整備、災害の防御に関する対策の実施について、その功績が特に優秀な消防団員・職員に、また、永年勤続し、その勤務成績が優秀で他の模範となると認められる消防団員・職員に対して行われるものです。

ひょうご消防のつどい2005　有馬支団女性団員による「寸劇」

富山大会　意見・体験発表

第十一回全国女性消防団活性化富山大会開催

兵庫県消防協会

第十一回全国女性消防団員活性化富山大会が、平成十七年十月五日（水）富山県富山市のオーバード・ホール（富山市芸術文化ホール）で開催されました。式典に引き続き名鉄トヤマホテルにおける情報交流会、翌六日（木）の富山市内等視察研修の日程で開催されました。

式典は、全国から女性消防団員を始め、消防職・団員二、二〇〇人以上が参加する盛大なものとなり、兵庫県からも関山会長以下女性消防団員十八名を含む総勢三五名が参加しました。

オープニングの南砺市消防団音楽隊による演奏に引き続き、開会宣言、国歌斉唱、主催者あいさつ、開催地市長あいさつ、来賓あいさつ、来賓紹介と進行し、休憩を挟んで歌手水前寺清子さんの記念講演となりました。

記念講演は、「ありがとう」と題するもので、水前寺さんの元気で、ユーモアに富み、また遠慮会釈のない語り口に皆引き込まれ、あっという間に予定の一時間が過ぎました。参加者は皆肩の力が抜け、前向きな気持ちにさせられるすばらしい講演となりました。

続いて富山県砺波市、愛知県長久手町、東京都千住、福岡県久留米市から四名の女性消防団員の意見・体験発表が行われました。

内容を競うものではありませんが、どの発表も甲乙付けがたく、女性だからできること、女性にしかできないこと、そして、今後の課題、取組について、明るくさわやかに発表されていました。またプロ顔負けの弁舌により、会場内を感動に包む場面もありました。こうした講演や意見発表により、参加者の皆様には、今後の活動に役立てる何かのきっかけがあったものと思います。

この他幕間には、アトラクションとして皆さんご存じの「おわら」などが披露され、最後に「大会宣言」と次回開催地の群馬県への大会旗の引き継ぎが行われ、式典は幕を閉じました。

兵庫県からの参加団体は次のとおりです。

神戸市北消防団（有馬支団）
姫路市飾磨消防団
尼崎市消防団
芦屋市消防団
丹波市消防団
小野市消防団

消防団今昔 ㊺

元南淡町消防団長
南あわじ市まとい会会長
仲山　勝巳

月日の経つのは早いもので、消防団を退団して早二〇年になりました。今日、当時を振り返る機会に恵まれ、そして今現役の消防団員の活動を目の前で見守る機会にも恵まれ、当時の消防団と現役の消防団とが重なり合って思い出します。

当時は旧陸軍の出身者が幹部団員で、我々新人団員はかなり厳しくしごかれたものでした。しかし、消防団員は地域の中心になれると、すごく期待もされたものです。

今も続く奉仕精神と自主防災、そして災害、火事現場等、さまざまな出来事がついこの間のことのように思い出すことができるのも、団員だった者の特権で、古い年代の出来事は消防のことばかりである。あまり他のことを思い出さないのは、私一人だけだろうか。

今思う事は、大きく変わった社会環境の中でも消防人としての伝統を受け継ぎ、これからも地域社会の中心的存在であり続ける消防団へ、まとい会の一人として心から声援を送って行きたいと思います。

西脇市消防団長
遠藤　明

西脇市消防団の歴史は古く、明治二八年四月に多可郡消防組（旧西脇市を含む）が発足し、昭和二七年四月の市制施行に伴い改編、その後幾多の改編を経て、昭和四一年四月の機構改革により六分団、四三部の体制が確立され、活動してまいりました。

去る十月一日、西脇市と黒田庄町の合併により、消防団も九分団、五八部、団員数一，〇二一人の新組織となり、私が消防団長の任命を受けました。

私の消防団歴は、昭和四八年四月に団員任命を受け、その間何日も出動した山林火災、行方不明者の捜索、連続放火魔の警戒、工場や家屋火災での活動が記憶にありますが、十年前の阪神・淡路大震災は忘れようにも忘れられない活動でした。

地震による我が家の被害は小さいものでしたが、震災当日は夜明けすぐに出動し、市内の被害状況の確認を行いました。西脇市内は人命にかかわる被害がなかったので、震災の翌朝、当時副団長の私は西脇市の救援隊として、消防車で神戸市灘区に行き、活動しました。

その後、三木市で雪や小雨の降りしきる中、徹夜で救援物資の受入れ作業を団員とともに行いました。テント内は寒く、帽子の雪も凍っているのに団員は何一つ不平不満を言わず、国内外からの救援物資の整理に当たってくれました。

一方、昨年の十月二〇日、台風二三号が当地方に襲来し、消防団員の出動も延べ一，六三四名を数え、西脇市内は経験のない未曾有の水害となりました。

被災地域の支援活動では、北播消防協議会六支部から消防団員一〇三名の応援をいただき、消防団組織の素晴らしさ、迅速な対応に我が西脇市消防団員のみならず、市民全員が感謝の気持ちを持ち、いつまでも忘れる事はないでしょう。

今後、自然災害の発生が心配される中、近隣、上部団体の皆様に御指導と御支援をお願いいたしまして、災害のない明るいまちづくりに努めてまいります。

北から南から

「近松の里」

尼崎市支部

尼崎というと、近松門左衛門の名前が思い浮かぶ人も多いのではないでしょうか。近松門左衛門は、江戸時代前期に活躍した浄瑠璃・歌舞伎作家。今で言う脚本家です。ご存知「曽根崎心中」をはじめ「冥途の飛脚」「国性爺合戦」「心中天網島」など数多くの名作を世に残しており、近松は東洋のシェークスピアと称されています。この近松は、わが尼崎の町と大変ゆかりのある人物です。市内には近松の墓があるほか、数々の作品を執筆した場所と伝えられ、交流の深かった広済寺など、様々な史跡があります。

尼崎でもこの「近松」を文化振興のシンボルとして内外にアピールすると共に、多彩な事業を展開しています。広済寺の東隣には近松の偉業をたたえ後世に伝えるため、昭和五〇年の近松の命日である十一月二二日に「近松記念館」が完成されました。鉄筋コンクリート三階建・延べ面積八〇四m^2で、一階は資料展示室、二階には二〇〇人収容の多目的ホールがあります。記念館には広済寺に残る近松の遺品約六〇点が展示されてあり、毎年十一月の命日に合わせて「近松祭」が催され、近松ゆかりの芸能などが上演されます。また、広済寺、記念館の北側には、せせらぎを配した回遊式の二ヘクタールにおよぶ庭園が作られ、この辺一帯は「近松の里」として整備されています。市内には、寺町の十一ケ寺をはじめ、田能遺跡など数々の文化財がありますが、この「近松の里」では文化財防火デーの訓練もしばしば行われ、浄瑠璃人形による一一九通報訓練、避難訓練、初期消火訓練などで、市民に対して文化財の防火意識の高揚を図っています。

119通報訓練

避難訓練

初期消火訓練

消　防　団　服
甲　種　　日毛・帝人・東レ団服・作業服・制帽
乙　種　　刺子・木綿
ハッピ・ズボン・腹掛・革バンド
附属品一式
キンパイホース　兵庫県特約店
株式会社　三　浦　消　防
姫路市竜野町1丁目1番地
電話（姫路 0792）92－0447　98－8663

美と力を備えた
新しいテクノロジーが
社会と暮らしを守り続けます。
安心を科学する
モリタです。
株式会社モリタ
本社　〒544-0003大阪市生野区小路東5丁目5番20号
TEL06(6756)0119　FAX06(6756)3473
東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・富山・松山

わがまちの団長さん ⑫⑨

「わが町の団長さん」

宍粟市千種消防団　春名　玄貴　団長

兵庫・岡山・鳥取の県境に位置し、瀬戸内海まで延々七〇キロに及ぶ千種川の源流で、人口四、〇〇〇人たらずの山間の町です。

その昔は、たたらによる製鉄が盛んで、徳川幕府の直轄地（天領）であったそうです。最近までは林業の町として大いに栄えておりましたが、木材価格の低落や、生活様式の変化に伴い農林業従事者数も減ってきております。近年、若者たちが都市部へ仕事を求めて出るようになり、年々消防団員も減少しております。昨年の十二月、徳田雅美団長の急逝に伴い、急遽その重責をも省みず団長として就任させていただきました。徳田団長さんは、本町に取りましても、また千種消防団に取りましても、かけがえのない団長さんでございました。

特に消防団活動はもとより、地域の中枢としてその期待に応え、地域住民からの信頼を得るようにとご指導を頂いておりました。そういう前団長の遺志をしっかりと受け継いでいかなければと思っております。特に近年、地球温暖化の影響からか、気候の変動が大きく、災害も多様化している中、地域住民の皆様の安全はもとより、団員の安全もいっそう考えていかなければと思っております。そして今、世界中いたるところで起きている災害が身近なものとなっています。また、山崎断層が直下にある当地域では、地域防災の構築が急務であると考えております。

本年四月、山崎町・一宮町・波賀町・千種町が合併をし、宍粟市が誕生いたしました。当然、一市一団制への移行も視野に入れ、消防団の組織・機構も考えていかなければなりません。

今後は先輩諸氏のご指導を仰ぎ消防団の運営に研鑽を深めていきたいと思っております。

「昔気質の国際派？？」

豊岡市但東消防団　坂岡　政昭　団長

平成十七年四月一日、但東町は、豊岡市、竹野町、城崎町、日高町及び出石町と合併し、新たに「豊岡市」としてスタートしました。

新「豊岡市」では、消防団は多団制をとっており、当団を含め、市内には六消防団があります。また、新「豊岡市」は面積約七〇〇㎢と兵庫県下一広大な面積を有し、そのうち約百六二㎢の旧但東町エリアの守備にあたるのが豊岡市但東消防団です。豊岡市但東地域は、合併前からシルク温泉、モンゴル博物館、チューリップまつりなどで有名です。

坂岡団長は、こと消防のこととなると、縦の命令系統を重んじ、率先して現場に赴き、いつも最前線で指揮をふるおうとする昔気質な人物です。曲がったことが大嫌いで、常に自分が信じた道を突き進む、まさに昔ながらの消防人といったところです。

このような団長ですが、本業のほかに、地区の営農組合の組合長として、地域のリーダーとしても活躍する傍ら、合併前から続いているモンゴルとの交流にも積極的で、この夏には「後は任せた！」と言い残し、単独でモンゴルに渡り交流を深めるなど、但東でも屈指のモンゴル派です。十月には、モンゴルから研修生がやってきましたが、その時も積極的に研修生を受け入れるなど、なかなかの国際派？です。

このような経験から、消防・防災の仕事でも、幅の広いものの見方で活躍していただけると皆が期待する団長です。

須磨浦ひらくの　急げ消ちゃん PART 34

小型ポンプ操法大会風景

消火訓練

地区通信

加古川市消防団八幡分団　小型ポンプ操法

加古川市消防団

九月一日の防災の日を迎えるにあたり我々加古川市消防団八幡分団では、去る九月四日に各町内会長を始め、多くのご来賓の皆様をお招きし、小型ポンプ操法大会を行いました。

今回で第二六回目となるこの操法大会では町内毎の七班に分かれて、それぞれの技術・スピードを競い合うことで消防団活動の基礎を学ぶと共に、各町内および八幡分団としての団結をより一層深める目的で永年継続して開催しています。

例年七月の後半より町内各班での練習が始められ、連日午後八時に集合し約二時間の練習を行っていますが、団員を取り巻く環境も様々で、指導者や選手の全員が一度に集まれる機会も少ないため、それぞれの班で工夫を凝らしながら練習を重ねて行きます。

八月、酷暑で日が暮れても三〇度を下回らない気温の中、各選手はようやくポンプの操作要領やそれぞれの動作について概ね覚えることが出来ると、各班の練習場所へ加古川市消防署北分署の皆様にお越し願い、基本動作の再確認と、さらに綿密な技術の指導を行っていただくことで、一人一人はもとよりチーム全体の操法の完成度を高めます。

八月後半には、今まで各班で模擬的に行っていた練習の成果を試すため、各班合同での訓練を開催し、実際に簡易水槽に蓄えた水を放水することで改めて各部の操作や、その水の勢いを確かめる機会としました。

九月四日大会当日には操法大会に先立ち、各町内会自主防災組織との合同訓練を行い、消火器を使用した消火訓練等も行いました。

引き続き行われた操法大会では、各班が練習の成果を存分に発揮し、近年でも少ない白熱した大会となり、採点を受け持っていただいた加古川市消防署北分署の皆様からも、お褒めの言葉をいただきました。

中でも数年に渡る努力の末、初優勝を勝ち取った班や、事情により前大会を棄権しながら今回見事に復活を果たした班の取り組みは、参加者に感動を与えるものでした。

多くの時間と多くの人の努力と協力により、操法大会を無事終えることが出来ましたが、我々八幡分団では近年中に予定されている操法東播大会を見据えて、来年以降もこの活動を進めてまいります。又、同時に地域住民の生命と財産を保護するための活動を、精力的に取り組み、地域の活性化に貢献していきたいと思います。

地区通信

「新生　朝来市消防団」

朝来市消防団

朝来市は、平成十七年四月一日に生野町、和田山町、山東町、朝来町の四町が合併し、誕生しました。兵庫県のほぼ中央部に位置し、南部は神崎郡、東部は京都府、丹波市、多可郡、西部は宍粟市に接しており、但馬の玄関口であるとともに、山陰地方と京阪神大都市圏を結ぶ交通の要衝の地にあります。市は、南北約三二km、東西約二四kmの範囲に広がり、日本海へ流れる円山川や瀬戸内海に流れる市川などの源流地域で兵庫県の南北の分水嶺でもあり、総面積は四〇二．九八㎢で県全体の四．八％を占めています。

朝来市消防団は、多数の先輩諸氏により築き上げられた旧四町消防団の歴史と伝統を引き継ぎ、朝来市誕生と同じくして発足しました。

四月一日には、任命式が行われ、市長職務執行者から団長へ、また、団長から四名の支団長及び十四名の副団長にそれぞれ辞令書が交付されました。

旧四町消防団の統合により、四支団、分団数三一分団、団員数一、〇三〇名、車両四八台の大所帯となり、現在も、従来からの出動体制を維持し、消防活動を行っています。

また、六月十二日には、兵庫県消防協会　関山会長をはじめ来賓多数のご臨席のもと、朝来市消防団として最初の行事である「朝来市消防団結団式」を挙行しました。式典では、南巧消防団長より、「昨年、一連の台風災害を経験し、改めて、消防団と自主防災組織及び消防本部との連携の重要性を感じました。ついては、連携の強化・円滑化のためにも平常時からの訓練を継続的に計画し、防災体制の整備を図っていただきたい」との訓示がありました。

昨年の台風襲来時には、旧四町の各所で、土砂災害、増水による床上・床下浸水など甚大な被害を受けました。延べ一，九七九名の消防団員が出動し、土のう積みや木流し工などの水防工法、被災地住民の避難誘導や倒木・土砂の処理など、連日連夜におよぶ活動を行いました。

このような昨年の経験から、台風シーズンに備え、資機材・通信機器の点検・危険箇所の確認を重点的に実施し、有事に備え体制を整えるとともに、各機関との連携強化に努めています。

このほかにも、消防団では、山火事防止訓練・夜間緊急訓練・合同防災訓練の実施、高齢者宅及び事業所への防火訪問や、市内全域においての防火パレードなどの啓発活動を実施することにより、「災害に強い朝来市」を目指し、団員が一丸となって頑張っています。

結団式にて（協会長挨拶）

結団式にて（頭中）

第十七回　全国女性消防操法大会

平成十七年十月二十日（木）晴天のなか、神奈川県横浜市の日本消防協会中央消防訓練場において、第十七回全国女性消防操法大会が開催され、兵庫県からは、香寺町女性消防隊が出場されました。

第一コース、一番目の出場で、緊張しながらも、真剣なまなざしで競技をされていました。残念ながら入賞には至りませんでしたが、香寺町女性消防隊の皆さん大変お疲れ様でした。

大会風景

関山会長の激励

第二十四回全国消防殉職者慰霊祭

第二十四回全国消防殉職者慰霊祭が、日本消防協会・全国消防殉職者遺族会の主催により、九月十五日（木）午前十時より東京・虎ノ門の日本消防会館ニッショーホールにて、厳かに執り行われました。

祭壇には、昨年十月の台風二三号で災害活動中に殉職した、波賀町消防団西中孝男部長をはじめ、今回新たに十六柱の御霊が、明治初期から現在までの御霊、五、三四七柱とともに奉納されました。

本慰霊祭において合祀されている御霊は、生前に郷土愛護の精神に燃え、住民の生命、身体及び財産を災害から守るため、身を挺し消火活動を行い、また、身の危険をも顧みることなく懸命な水防活動を行い、尊くもその職に殉じられた全国の消防団員、消防職員、消防協力者の方々です。

式典には、兵庫県から、関山会長、遺族代表者六名が参列しました。

当日は、全国から多数の遺族の方々が今はない肉親の魂との再会を待つ中、日本消防協会旗の入場に始まり、御霊の奉納、黙祷、日本消防協会長　徳田会長の式辞の後、内閣総理大臣（代理）、板倉消防庁長官、関口全国消防長会会長からそれぞれ追悼の言葉が贈られ、その後参列者が故人の冥福を祈り献花しました。

続いて、江戸消防記念会から鎮魂の歌（木やり）が披露され、遺族代表よりお礼のことばが述べられ、厳粛のうちに終わりました。

慰霊祭

編集後記

朝晩の冷え込みが、日ごとに厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月号では、「ひょうご消防のつどい二〇〇五」「第十一回全国女性消防団員活性化富山大会」「第十七回全国女性消防操法大会」「第二四回全国消防殉職者慰霊祭」の記事を掲載しております。つどいでは、たくさんの皆様に出席いただきありがとうございました。また消防団今昔には、元南淡町消防団長仲山勝己さん、西脇市消防団長遠藤明さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

紅葉の季節になりましたね。行楽日和の休日に、お弁当を作って出かけるのも良いかもしれませんね。